

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	1
事業名	秘書費	会計	款	項	目
		一般	2	1	1
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	政策課		
施策	4-1 効率的行財政の運営	係名	広報秘書係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町長、副町長	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町長、副町長が効果的、効率的に町政経営ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会議・行事への出席、打合せ、面会などの日程調整 ・町長、副町長の出張業務の補助 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B				5,722	3,134		4,070	
財源内訳	直接事業費 A			112	164		1,100	
	うち一般財源			112	164		1,100	
人件費 (千円) B				5,610	2,970		2,970	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.85	5610	0.45	2970	0.45	2970
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	今後も町長、副町長が適切な政策判断ができるよう随行、日程調整、来客の接待等を通じて、内外の活動の補佐を行う。	③取組の課題	公務過多になりがちなスケジュールの適切な調整。
②R3年度に実施した取り組み	町政運営が効果的、効率的に行えるよう町長、副町長の公務のスケジュール調整や出張業務に対する補助業務を適切に行い、突発的な事案に対しても対応できるよう業務を行った。	④今後の改善計画	今後も町長、副町長が適切な政策判断ができるよう内外の活動を補佐する。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	2
事業名	広報広聴経費	会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	2	1	2
施策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進	課名	政策課		
		係名	広報秘書係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	町民が町政に関する情報を、適切な時期に取得することができる。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報紙の発行…毎月1回の「広報とういん」の発行 ・ 町民カレンダー作成…1年間を通じた行事を掲載したカレンダーの各戸配布 ・ ホームページ、メール配信サービス…町のホームページ、行政情報のメール配信 ・ 行政情報番組放送…プラムチャンネル、旬感みえへの出演、デジタルサイネージシステム ・ 広聴業務の実施…町政懇談会や出前講座などの開催 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	町ホームページ閲覧件数 (トップページ)	476,346			件	↑	600,000
2	町ホームページ閲覧件数 (総アクセス数)	4,563,691			件	↑	3,800,000	
3	とういんプラムチャンネルを普段見る町民の割合	-			%	↑	↗	
4								
5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			45,431		45,171	60,736		
財源内訳	直接事業費 A		35,861		36,261	50,386		
	うち一般財源		35,861		35,620	49,806		
人件費 (千円) B			9,570		8,910	10,350		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.45	9570	1.35	8910	1.35	8910
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0.8	1440

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業内容を現在の規模を超えて拡充すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	広報の内容を充実させ、必要な情報を住民に届けられるようにする。特にコロナ禍の中でオンラインでの情報提供が重要となっていることからホームページ等の更新を適正に行う。	③取組の課題	Instagramについては、フォロワー数を増やす取り組みが課題。町民カレンダーについては、ポスティングに伴い、折りたたみ式としたが、今までと形態が違うことから町民カレンダーと気づかず、配布されていないとの問い合わせが多かった。
②R3年度に実施した取り組み	町の魅力発信手段として、新たにInstagramの運用を始めた。また、町民カレンダーのポスティングを開始した。	④今後の改善計画	広報戦略を策定し、今後の広報のあり方について方向性を定める。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	2-	3	
事業名	企画経費	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
政策	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	政策課		
施策	4-1 効率的行財政の運営	係名	政策係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全町民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	全町民が健康で活躍し、まちづくりに参加している状態を目指す。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポイント事業の周知と休日受付窓口を開設する。 ・SDGsに関するまちづくりセミナーを開催する。 ・総合計画審議会を開催し、総合計画及び総合戦略の効果検証を行う。 ・地方創生交付金事業の実施及び三重県と県内市町が共同して実施する移住・就業マッチング支援事業を実施する。 ・桑名・員弁広域連合の設置により共同事務を実施する。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B			14,346		14,619		16,834	
財源内訳	直接事業費 A		3,786		6,039		7,894	
	うち一般財源		3,438		5,570		6,150	
人件費 (千円) B			10,560		8,580		8,940	
内訳	一般職員 (人・千円)		1.6 10560		1.3 8580		1.3 8580	
	臨時職員 (人・千円)		0 0		0 0		0.2 360	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	Ⅲ 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	新たな総合計画の実施に伴い、外部評価も採り入れPDCAサイクルを回していく。	③取組の課題	トータルシステムとして各課が作成する実施計画の精度の向上。また、今後の観光のあり方についての検討。
②R3年度に実施した取り組み	第6次総合計画の初年度として第5次の振り返りを含め予算編成までのトータルシステムに取り組んだ。また観光補助の採択を受け、プールの撤去の観光資源化、中部公園でのヴィアティンフェスティバルの開催など、地域事業社と協働しての事業に取り組んだ。	④今後の改善計画	外部評価を取り入れた第6次総合計画の適切な遂行。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2	4
事業名	地域コミュニティ応援事業費	会計	款	項	目
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	一般	2	1	6
施策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進	課名	政策課		
		係名	地域コミュニティ応援プロジェクト		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会を中心とした地域	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地域住民が誇りを持って自らの地域課題等に取り組み、持続的な地域づくりができています
事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり交付金の交付 ・自治会を中心とした地域自らが取り組む地域づくりへの支援 		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1							
2								
3								
4								
5								
		令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B		0		15,840		27,275		
財源内訳	直接事業費 A	0		0		11,435		
	うち一般財源	0		0		11,435		
人件費 (千円) B		0		15,840		15,840		
内訳	一般職員 (人・千円)		0	2.4	15840	2.4	15840	
	臨時職員 (人・千円)	0	0		0	0	0	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画		③取組の課題	自治会を中心とした地域に対し、事業の目的を充分理解してもらうよう、説明していく必要がある。
②R3年度に実施した取り組み	地域コミュニティの支援として新たな交付金制度を創設した。	④今後の改善計画	新たな交付金は3年毎に見直しを行い、地域コミュニティの醸成に取り組む。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2-	5
事業名	鉄道事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	12
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	課名	政策課		
施策	9-3 公共交通網の維持・確保	係名	政策係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通勤・通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通勤・通学者と障がい者等の交通弱者が、公共交通としての鉄道を利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 北勢線事業運営協議会の設置 北勢線事業運営維持費への補助 三岐線鉄道軌道安全輸送設備等整備事業への補助 三岐線鉄道施設安全対策事業への補助 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
指標	1	北勢線の乗車人員	1,923,377			人	↑	↗
	2	町内鉄道駅の乗車人員 (東員駅)	140,466			人	↑	↗
	3	町内鉄道駅の乗車人員 (穴太駅)	101,708			人	↑	↗
	4	町内鉄道駅の乗車人員 (北勢中央公園口駅)	80,616			人	↑	↗
	5	鉄道 (北勢線、三岐線) を利用している町民の割合	-			%	→	18
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			59,660		51,924	75,211		
財源内訳	直接事業費 A		47,912		47,964	70,981		
	うち一般財源		47,840		47,891	70,909		
人件費 (千円) B			11,748		3,960	4,230		
内訳	一般職員 (人・千円)		1.78	11748	0.6	3960	0.6	3960
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0.15	270

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	D 国・県・広域自治体で担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	利用者数の増加とともに、大きく減少している観光需用の増加を広域的に取り組む。また次年度からの支援方針を2市とともに検討する。	③取組の課題	コロナ禍による利用者減対策とそれに伴う支援額の増加。
②R3年度に実施した取り組み	令和4年度からの北勢線の支援について2市1町で協議し、令和6年度までの暫定支援を取りまとめた。	④今後の改善計画	北勢線の利用者回帰への取り組みを行いつつ、新たな交通機関のあり方について2市とともに協議を行う。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	2-	6	
事業名	コミュニティバス事業費	会計	款	項	目
政策	9 持続可能な町の形をつくるために	一般	2	1	12
施策	9-3 公共交通網の維持・確保	課名	政策課		
		係名	政策係		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	通学者と高齢者、障がい者等の交通弱者が公共交通としてのオレンジバスを利用して、移動ができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジバス3台による運行委託 ・地域公共交通会議による生活交通確保維持改善計画の策定と効果検証、ルート・ダイヤ等の検討、地域公共交通計画に基づく効果検証 ・バスロケーションシステムによる利便性の確保と利用者データの把握 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1	オレンジバスの乗車人員	74,453			人	↑	↗
2	新たな技術や移動手段などの取り組み事業数	0			事業	↑	1	
3	オレンジバスを普段利用している町民の割合	-			%	↑	7	
4								
5								
			令和2年度 (決算)	令和3年度 (決算)	令和4年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B			88,824	86,727	88,914			
財源内訳	直接事業費 A		81,564	79,467	81,384			
	うち一般財源		65,059	60,535	64,403			
人件費 (千円) B			7,260	7,260	7,530			
内訳	一般職員 (人・千円)		1.1	7260	1.1	7260	1.1	7260
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	0.15	270

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	地域公共交通計画を進めるとともに、新たな交通手段や手法の検討を進めていく。	③取組の課題	コロナ禍による利用者回帰への取り組み。
②R3年度に実施した取り組み	運賃改定を行うとともに、小児運賃、高齢者割引制度などを導入した。またデジタルサイネージの設置を行うべく企業との取りまとめを行った。	④今後の改善計画	より使いやすいバスとなるようルート、ダイヤの検討と、オレンジバスを補完する交通の検討。

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	2-	7
事業名	統計調査事業費	会計	款	項
		一般	2	5
課目	4 持続可能な町の経営ができるために	課名	政策課	
施策	4-1 効率的行財政の運営	係名	政策係	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	国が行う各種統計調査	目的 (対象がどのような状態になっているか)	各種統計調査が正確かつ円滑に実施されている。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経済センサス活動調査 ・工業統計調査 ・人口推計調査 ・学校基本調査 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)	
	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
			令和2年度 (決算)		令和3年度 (決算)		令和4年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B			13,645		7,553		8,117		
財源内訳	直接事業費 A		7,405		953		617		
	うち一般財源		0		0		0		
人件費 (千円) B			6,240		6,600		7,500		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.91	6006	1	6600	1	6600	
	臨時職員 (人・千円)		0.13	234	0	0	0.5	900	

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	A 町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	国の統計法に基づき適切に統計調査を実施する。	③取組の課題	登録調査員制度の充実。
②R3年度に実施した取り組み	経済センサス活動調査を適切に実施した。	④今後の改善計画	統計法に基づき適切に統計調査を実施する。